

非常時における 事業者間ローミング等に関する検討会

デュアルSIM等に関する取組みについて

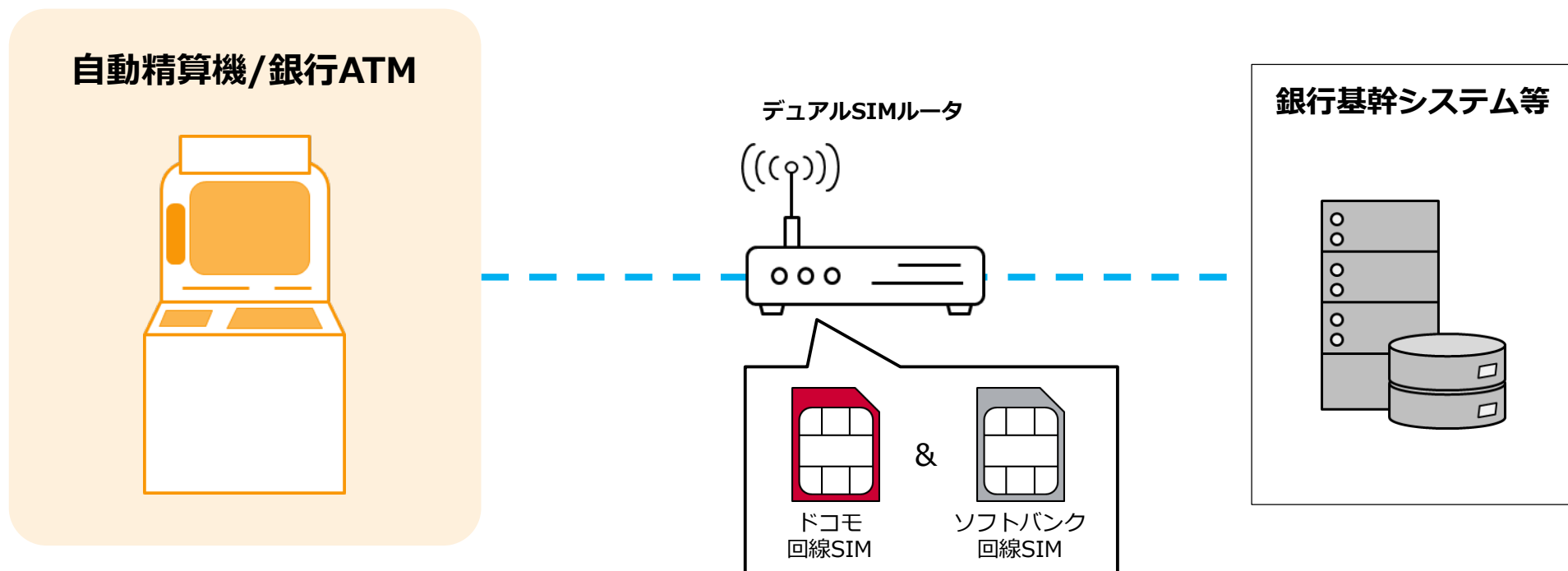
2022年12月20日

日本通信株式会社

- 弊社は、2009年3月に株式会社NTTドコモ様との間で、また、2017年1月にソフトバンク株式会社様との間でL2相互接続を実現いたしました。
- 現在、上記2社のネットワークを活用してお客様へのサービス提供を実施しております。
- 特に法人のお客様向けに弊社ソリューションを提供する場合において、デュアルSIMルータ等を活用して、上記2社のネットワークそれぞれの回線を切り替えてご利用可能とすることによって、通信環境の冗長化のご提案を実施しております。

- 自動精算機等のクレジットカード決済端末や、銀行ATMが取り扱う通信については、決済指示や為替取引指示等の重要な情報伝達が発生するため、任意のタイミングで通信が可能である状況が求められます。
- 弊社は、上記のような端末に接続させるデュアルSIMルータおよび当社回線（ドコモ回線、ソフトバンク回線の2種）をセットで提供しております。
- 片側のネットワークで障害が発生した場合においても、回線を切り替えることで引き続き通信の利用が可能となります。

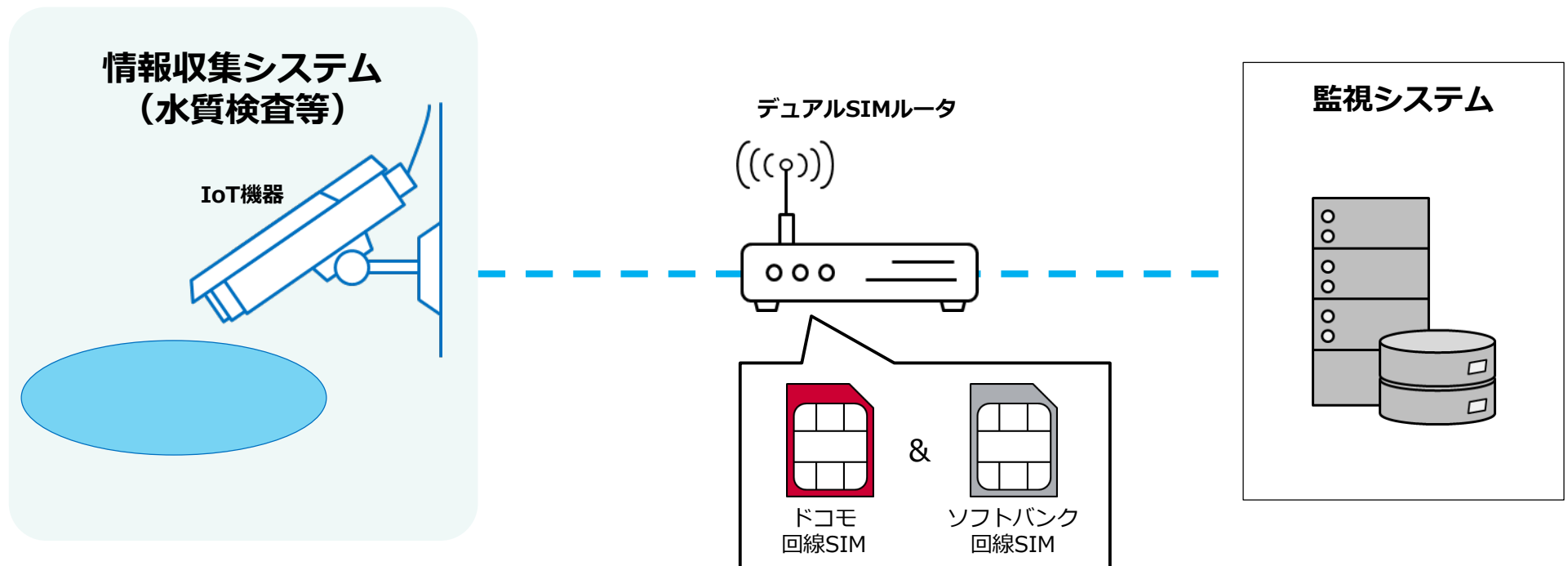
図1. 自動精算機・銀行ATM向けデュアルSIMルータ活用イメージ



②水質検査等の情報収集システム向け デュアルSIMルータ

- 水質検査等の情報収集システムに用いられるIoT機器は、常に動作が保証されるべきものであり、高可用性を担保した通信環境が求められます。
- 弊社は、上記のような端末に接続させるデュアルSIMルータおよび当社回線（ドコモ回線、ソフトバンク回線の2種）をセットで提供しております。
- 片側のネットワークで障害が発生した場合においても、回線を切り替えることで引き続き通信の利用が可能となります。

図2. 水質検査等の情報収集システム向けデュアルSIMルータの活用イメージ



③クレジットカード情報非保持化タブレット

- クレジットカード情報非保持化タブレットでは、重要な情報伝達が含まれるため、MNOでの通信障害が発生した際にも、別のMNO通信を活用することでサービス継続を可能にしています。
- 弊社は、専用タブレットおよび当社回線（ドコモ回線、ソフトバンク回線の2種）をセットで提供しております。
- どちらかのネットワークで障害が発生した場合においても、SIMを入れ替えることで引き続き通信の利用が可能となります。

図3. クレジットカード情報非保持化タブレットのデュアルSIM活用イメージ

